

6 特別支援学校

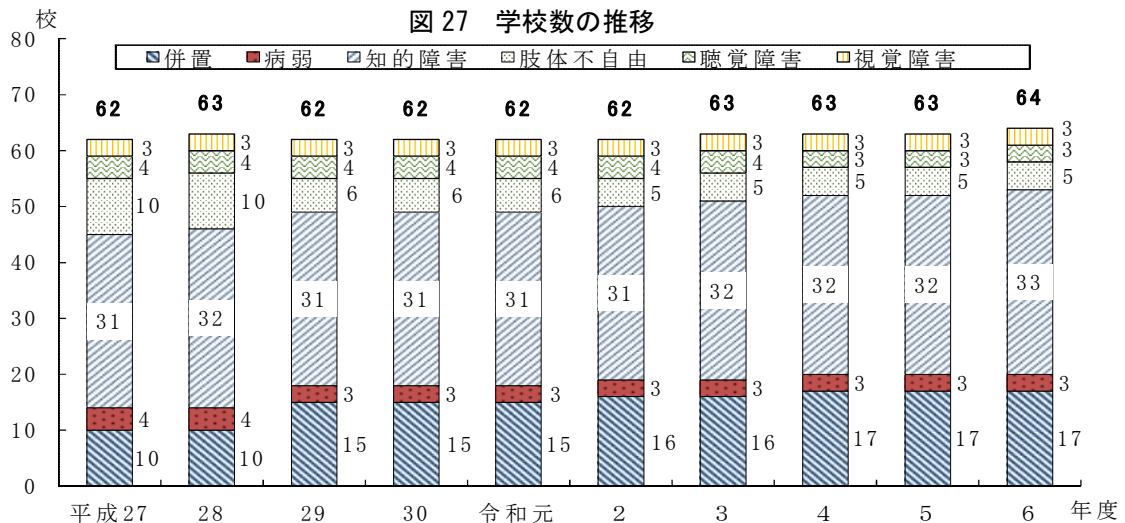
(1) 学校数

学校数は、64校（都立59校、区立5校）で、前年度より1校増加している。

学校数のうち障害種別を複数設置している併置校は17校（肢体不自由・知的障害併置校10校、肢体不自由・病弱併置校4校、視覚障害・知的障害併置校1校、知的障害・病弱併置校1校、聴覚障害・知的障害併置校1校）となっている。

併置校以外の学校数を障害種別で見ると、視覚障害3校、聴覚障害3校、肢体不自由5校、知的障害33校、病弱3校となっている。

（Ⅲ統計表 第31表）



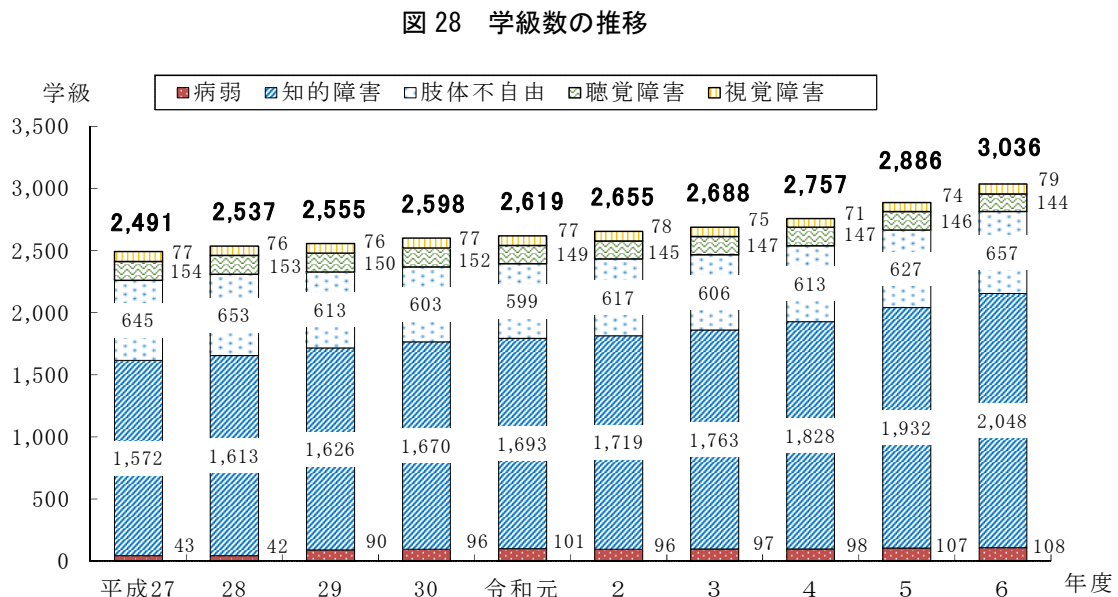
注1) 区立5校の障害種別は、肢体不自由1校、知的障害1校、病弱3校となっている。
2) 併置校は全て都立である。

(2) 学級数

学級数は3,036学級で、前年度より150学級増加している。

障害種別で見ると、視覚障害79学級、聴覚障害144学級、肢体不自由657学級（都立641学級、区立16学級）、知的障害2,048学級（都立2,009学級、区立39学級）、病弱108学級（都立94学級、区立14学級）となっている。

（Ⅲ統計表 第31表）



(3) 在学者数

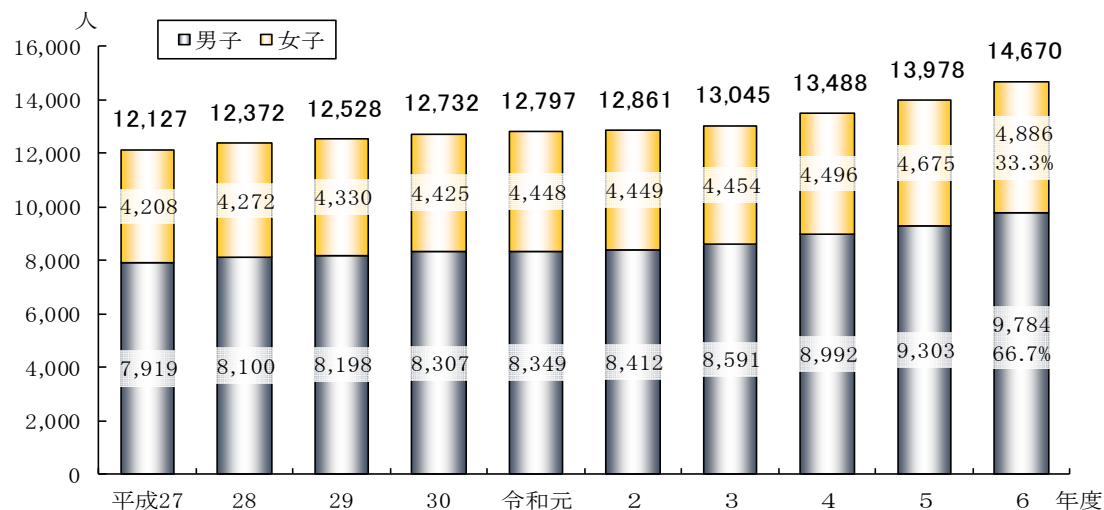
在学者数は14,670人で、前年度より692人増加している。

障害種別で見ると、視覚障害192人、聴覚障害603人、肢体不自由2,150人（都立2,110人、区立40人）、知的障害11,494人（都立11,313人、区立181人）、病弱231人（都立167人、区立64人）となっている。

男女別で見ると、男子9,784人（構成比66.7%）、女子4,886人（構成比33.3%）で、前年度と比べて、男子の構成比が0.1ポイント増加、女子の構成比が0.1ポイント減少している。

（Ⅲ統計表 第31表）

図29 在学者数及び男女別割合の推移



(4) 教員数

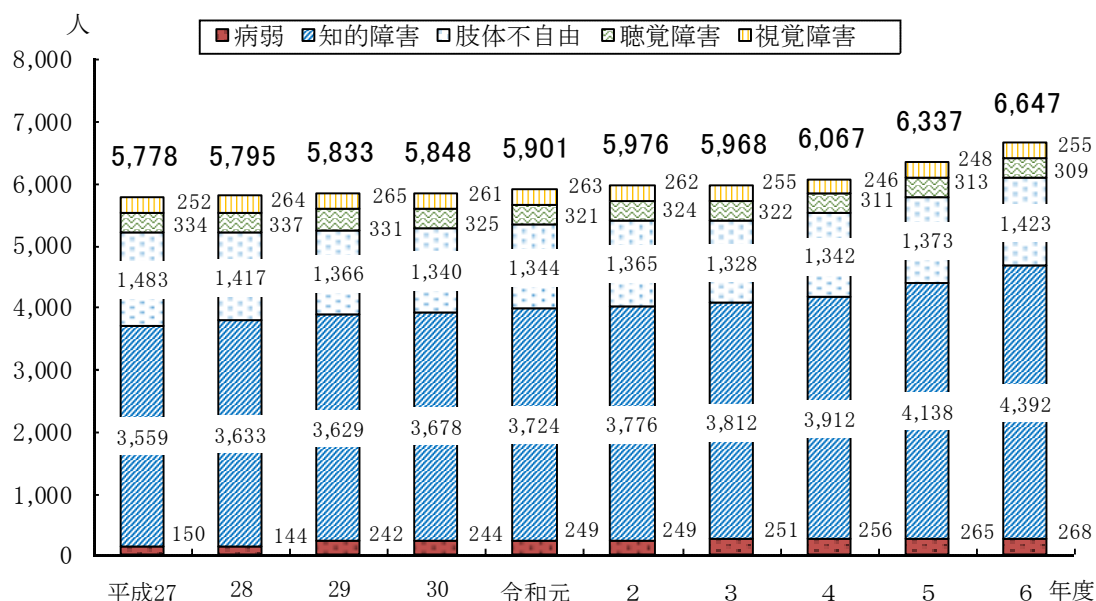
教員数は、6,647人で、前年度より310人増加している。

障害種別で見ると、視覚障害255人、聴覚障害309人、肢体不自由1,423人（都立1,385人、区立38人）、知的障害4,392人（都立4,319人、区立73人）、病弱268人（都立203人、区立65人）となっている。

男女別で見ると、男性2,651人（構成比39.9%）、女性3,996人（構成比60.1%）で、前年度と比べて、男性の構成比が1.3ポイント増加、女性の構成比が1.3ポイント減少している。

（Ⅲ統計表 第32表）

図30 教員数の推移



注) 教員数は、臨時的任用教員を含む。

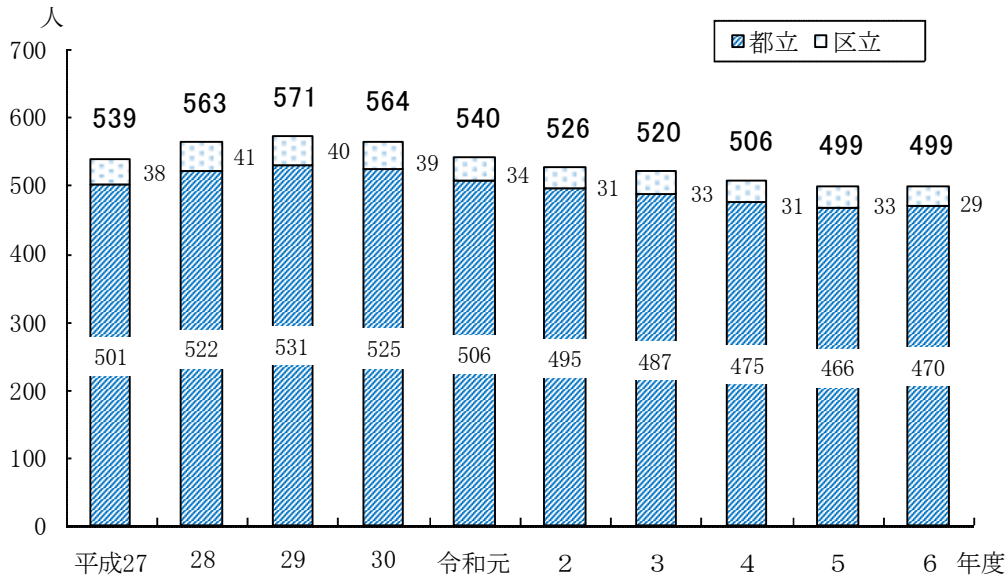
(5) 職員数

職員数は、499人（都立470人、区立29人）で、前年度と同数である。

男女別で見ると、男性214人（構成比42.9%）、女性285人（構成比57.1%）で、前年度と比べて、男性の構成比が2.0ポイント減少、女性の構成比が2.0ポイント増加している。

（Ⅲ統計表 第33表）

図31 職員数の推移



注) 職員数は、臨時的任用職員を含む。

図32 職員の職名別割合

